

ユリさん通信

Vol.0



ヒビキ

ユリさん通信とは？

初めまして。

著者のヒビキと申します。

まずは、この『ユリさん通信』というのがどういうものであるのかを説明させていただきます。

僕のガイド、日本的に言えば守護霊さんと言えばいいのでしょうか。

そのガイドのユリさんと僕のコンタクト(会話)の記録です。

実際、普通に人と話してる感じでやり取りがあるのですが、それをそのまま書いても冗長になりますので、

ユリさんのモノログという形でまとめてあります。

著者である僕自身が普通の人なので、ユリさんのメッセージも「宇宙の神秘」だったり、「隠された真実の歴史」だったりせず、ある意味、日常生活に活かせる考え方や人生観的な物がほとんどではありますが、その分、眉に唾をつけずに受け取ってもらえるかな？とは考えています。

内容は、ブログ『ガイドと共に』にて公開したものに、オリジナルのコラム等を加筆した物で、ユリさんのメッセージそのものは公開時と同じ物です。

(誤字脱字等は訂正をしています。)

ガイド・ユリさんの紹介

次にこの本の主人公とも言える、僕のガイド・ユリさんとはどんな存在なのかを紹介します。



外見は、金髪碧眼でグラマー&長身な美女。
性格は、豪放磊落で勝気&キツくて男前。

元々は伏見稻荷大社の巫女さんだったようなのですが、なぜか金髪巻き毛のショートヘア。

口癖が『アンタ、バカァ?』

そして、僕のガイドさんなのに他の人のところにもちょくちょくと現れるという、ちょっと変わった?ガイドさん。

ただ、これは僕のフィルターを通して知覚した姿なので、他の方には微妙に違って感じられる事もあります。

(ガイドさんってのは、実体があるわけではなく、光や電気などと同じエネルギー体なので、知覚する人のフィルターによって感じ方が違うため。)

ヘミシンクのセッションにより、2009年の秋に出会ってから3年以上の長い付き合いになります。

あなたの周りはあなたの鏡

『あのね～、「他人や周りは鏡」って、ホントの意味...分かってる？

わかってないでしょ？

教えてあげるから、ちゃんと聞くのよ、わかった？

あんたの周りに鏡があるって、ちゃんとイメージしなさいな。

そこに写ってんのが、アンタの周りの人や環境なのよ。

それは、見ての通り、自分自身をも写してるでしょ？

じゃあ、鏡に写ってる"それ"を自分が思うようにしたいなら、どうすればいいかわかるでしょ？



わかんないの？

あんた、バカあ？

何もしないで、こうなったらいいなって思ってるだけで、鏡に写ってるアンタは動くの？

鏡のアンタが動いたら、アンタが動くの？

違うでしょ？

アンタが動く事で、鏡の中のアンタも動くんでしょうが。

まず、アンタが成りたい様に行動しなさい、ってのはそういう事でしょ？

幸せになりたいなら、先に幸せになってる行動をしなさいって事。

あなたがチョコキを出したいなら、先にチョコキを出すのよっ!!!

そうしたら、アンタの周りの鏡、環境もチョコキになるでしょうが。

アンタが思ってるだけで動かずにいたら、いつまで経っても、周りはチョコキにならないでしょ？

周りがチョコキになったら、アンタがチョコキ出すの？

鏡に写ったアンタが動くから、こっちのアンタが動くんじゃないでしょうが！

こっちのアンタが成りたいように動くから周りがそうなるんじゃない。

だからこそ、アンタの周りのものは全て、アンタを写す鏡なんじゃないの。

チョコキ出したいのにグー出してたら、グーが写る、つまり帰ってくるわよね。

ちゃんとわかってるようね...

思うようにならないって？

だって、チョコキ出したいのにグーなんかだしてるからじゃないのっ!!!!

何でグーなんて出すのよっ！

チョコキ出したいなら、チョコキ出しなさいっ!!!

いつまでもグー出してんじゃないわよっ！

やるべきこと、わかってんのに何でやらないの？

恥ずかしいの？

煩わしいの？

それとも、面倒臭いの？

そんな事のために、なりたくないようにならない～って指咥えてるつもり？

アンタの「こうありたい、こうなりたい」は、その程度？

べっつにいいんだけどね～

アンタが動くと、アンタの周りの鏡もそのように動き、写し出すってことだけは覚えといて。

そうなるのを待つんじゃなくて、先に動くのよ！

先払いだからねっ。

その上で、アンタが動こうが動かなかろうが、アンタの勝手だから。

私は知りません！

決めるのはアンタなんだから。

好きにやんなさいな!!!』

どうしてきつい言葉でいうの？

『ねえ、どうして人に伝えたり教えたりする時に
きつい言葉を使う事があるのかわかる？

え？

あたし？

あたしはいいのよっ！！

アンタのガイドなんだからっ！

バカねっ!!!



なんの話だったかしら...

そうそう、なんできつい言葉で伝えたり

教えたりする事があるかって事。

良く考えてごらんなさい。

アンタが人にきつい言葉で伝えたりしてる時の事。

時々は気づいてるわよね？

言ってるし。

「これって、まるで自分に言ってるみたい...」

って。

そうなのよ。

前にも言ったわよね。

アンタの周りの人や環境は、アンタを映す鏡だって。

アンタがきつい言葉で言ってる時って

自分自身わかってるけど出来ていない時じゃない？

相手を通して、自分を見せられているから

余計に強い言葉で言ったりするのよ。

自分自身、腑に落ちて出来ている事を人に伝える時、

例え、相手がなかなか理解できなかったり、

やる事が出来なくても、きつい言葉では言わないわよ。

車を運転してる時、乱暴な運転とかされたりしたら

かなりきつい言葉で相手を罵るわね、アンタ。

それって、アンタも時々やってる事じゃない？

自分の行動は客観的に見れないからわかりにくいけど。

そうやって、鏡として周りの人が見せてくれたらわかるでしょ？

人にきつい言葉で言ってる時、それは自分自身出来ていない事を相手が見せてくれた...

これが、ちゃんと理解出来て実践出来たら

簡単に波動が上がるから。

穏やかで、楽しい人生にすぐになるわよ。

瞑想とか、いろんな事を時間を取ってやるのもいいけど、特別な時間だけやるんじゃなくて、

こういう風に普段からチェックしてる方が簡単よ。

強い言葉で言っても相手は動かないからね。

だって、アンタも人から強い言葉で言われたら...

やらないでしょうが！！

自分はやらないのに、何で人はやってくれると思うかなあ？

いい事、本当に忘れないでね。

あの周りの人や環境は鏡に映ったアンタ自身。

アンタが創り出したものなの。

強い言葉には強い言葉が返ってくるのよ。

自分が投げかけたものが返ってくる。

じゃあ、自分がやりたい事をやるにはどうしたらいいか

言わなくてもわかるわね？

本当にわかったのね？

じゃあ...

わかったのに出来なかったら...

ヒドイからねっ!!!』

新聞の記事から～

親が料理人の人が自分のお店を持ちました。

始めはお客さんが1週間ゼロのときもあってへこんだわ。ある店の先代店長が来はったとき、「おやじのレシピやけど、僕は甘いと思うんですけど」と木の芽料理を出したら、「あほか」と怒られた。「甘いと思うたら、甘くないのを出せばええがな。自分が旨くないもんを出して店を潰すのと、間違いないと思うもんを出して潰すのと、どっちが本物なんや」。本店の味を気にしてたけど、「俺は俺や」と吹っ切れた。

ってのを読んでましたら...



『そうよね。
全てそう。』

あなたは特別なよ。
あなただけじゃない、みんなが特別なの。
全ての存在が特別な存在なんだから。

何かをやる時に、わからないから習うのはいいわよ。
でも、基本的な事がわかったら、後は自分なりの方法が出てくる...はずなのよ。
自分自身で考えてる人はね。

何も考えずに、言われたまましてる人は疑問にも思わないけど。
それって、教えてくれた人のコピーじゃないの。
あなたは、その人とは違う特別な存在なんだから、コピーになってどうするの？

まあ、人によって自分なりの方法が出てくる時期は違うけどね。
でも、自分自身で考えてたら、いつかは自分のやり方ってのが出てくるわよ。

もしも、自分のやり方ってのが出てきたのなら勇気を出して、自分の方向に進みなさい。
それは、教えてくれた人への裏切りでも否定でもないのよ。

自分になる、って事だから。

そっちの世界の事もそう、こっちの私たちにコンタクトするのもそう。
あなたなりの方法、あなたにぴったりの方法があるわ。

いつまでも、教わった事そのものにしがみついているんじゃなくて、自分の道を歩けばどうかしら？

見つけるつもりなら必ず見つかるわ。
だって、あなたのために用意された道なんだから、その道は。

道は人の数だけあるのよ。
私たちは、あなたの道を歩いて欲しいと願ってるわ。

人は、誰かのコピーになる為に、そこにいるんじゃない。
あなた自身を表現するために、そこにいる事を忘れないで。

だって...
この私が、誰かのコピーやってるヤツのガイドだなんて信じられないからねっ!!!

わかったわねっ!!!!!!』

コミュニケーションなんて簡単よ

『どうして、私達とコミュニケーションとるのを、そんなに難しく考えるかなあ。

ペットとかの動物や、観葉植物とか、自分の愛車とかに話しかけたことはないの？



そういう相手とお話する時って、人と話しする時みたいに「言葉」での返事って期待する？

しないでしょ？

でも...

「解る」わよね？

何故...解るの？

考えた事ある？

彼らから、言葉で返事をもらう事なんて、はなから期待してないわよね。

でも、あなたは解ろうとしている。

そういう時って、無意識のうちに肉体的な5感以外の感覚を開いてるのよね。

そこに、彼らからの返事を受け取ってるの。

わかる？

その時、あなたは、聞こうとしていない、のよ。

感じようとしているの。

Don't listen! Feel!! ね。

だから聞けるの。

解るのよ。

まず、最初の間違ひは、言葉を聞こうとしてること。

そうではなく、相手の答えを感じようとするの。

言葉で理解しようとしてるから、言葉以外のモノは「違う」ってフィルターが入って、受け取っても流してしまうのよ。

だから、聞こうとせずに解ろうとしなさい。

解ろうとしたら、必ず解るのよ。

解るって感覚に慣れてきたら、赤ん坊が言葉を覚えるように、感じたことが言葉に変換できるようになるわ。

最初から言葉で理解しようとしてるから、いつまでたっても「解らない」のよ!!!

解った???

次の間違ひは...

人の話を聞こうともしないでしょ？

話そう、話そうとしてる。

実際に話さなくても、あなたの心、ハートの中は「あれを話そう、これも話そう」としてらるわよ。

そちらの世界でも同じでしょ？

相手の言葉を引き出すのが上手い人は"聞き上手"。

自分の事を、一生懸命話そうとしている人は、人の話なんて耳に入らないのよ。

私達の声は小さいの。

ま、正確に言うと、私達の声聞き取るあなたのセンサーが鈍いんだけどね～

そんな状態で、ただでさえ聞き取りにくいのに、私達の声聞く事より、自分自身の事を話そうとしたら...

聞こえるはずないじゃないの!!!

人の話を聞く事からコミュニケーションは始まるのよ。

解った？

自分の事を話す前に、人の話を良く聞きなさい!!!

これさえ出来たら、私達とコミュニケーションとるのは何も難しくないわ。

あとは、難しいと思っているあなたがいるだけね。

そこは、どうするかって？

あのね...

そのくらい...

自分で何とかしなさいっっ!!!!!!

何でもかんでも、あたしに頼るんじゃないわよっ!!!』

やりたいなら...やりゃいいのよっ!!

この本は基本的にmixi日記&ブログ『ガイドと共に』に書いた記事を、iPhone等の端末にダウンロードして、通信環境のないところでも読めたらなあ、ということで始めました。

しかし、ただそのまま持って来て、本の体裁を取るだけでは面白くないっ！

ってんで、各巻にこのようなオマケを付ける事にしました。

今回は、発行準備号みたいなVol.0なので、これひとつですが。

以降続ける予定の、vol.1、Vol.2~には、もっと多くのオマケの章を付ける予定ですのでご期待下さい。

では、今回のオマケは...

そもそも、この『ユリさん通信』を始めるきっかけになった記事の再録です。



よく聞く話ですが、アメリカで90歳以上の方へのアンケートで「90年生きて、唯一後悔してる事は何か？」と聞くと...

『もっと冒険しておけばよかった』

と。

多分ね

「やっちゃまったなあ〜」

by クールポコ(古っ[m:76])

な事って、過ぎれば笑い話になるんですよ。

事の大小で、そうなるには時間がかかっても。

でも、やりたいのにやらずにきた事って、反省や笑い話にはならなくて”後悔”になっちゃうんですねえ。

で、不思議な事に

「やっちゃまったなあ〜。次はそうならないようにしよう!!!」

って思ってたら...

『次』が来るんです。

しかし...

「ああ〜...あれ、やっときゃよかった...orz」

って後悔した事って『次』がこないことが非常に多い。

何故かって?!

わかりませんっ!!!

(¯ m ¯ //) ぷぷっ!

わかんないんだけど、何故かそうなんですよ〜

で、こ〜ゆ〜話を聞いた時に...

「何故そうなる?理由は?どんな理論、流れでそうなるかわからないと出来ないっ!!!」

って人と

「理由はわかんないけど、そうなるんやったらやってみよう」

って人がいるんです。

テストしてる時に先生が

「ここの答えは”A”だよ。」

って教えてくれてるのに

「どんな式で?どんな公式使うんだ?」

って考えてたら時間オーバーになって落第しちゃうんです。

「わけわかんないけど先生が言うから書きちゃえ[m:76]」

って人は合格するんです。

そんなんズルいって?

ズルくない、ズルくない ($\geq \nabla \leq$)

合格してから、ゆっくり理由を考えたらいいいですよ。

合格したんだから、何故そうなったか？ってのは、時間がかかってもわかるんです。

でも、合格しないと”合格しなかったワケ”はわかるけど”合格したワケ”ってのは永遠にわかんないんですよ。

ワタシは左に行ったから間違えた。じゃあ右に行けばいいんだ...って、そんな単純なものじゃない。

ただっ広い広場の真ん中で、どこに足を踏み出すかなんて、左右の二者択一じゃあない。

でも、合格した人は、自分の歩いた足跡はわかるんです。

だから「合格した理由」がわかる。

でも、そんなんズルい...って思う人は、次の人に先生と同じように教えればいいんです。

自分は答えがわかっているのに、悩んでる人みても放っておくって方が『ズルい』 ($\geq \nabla \leq$)

だから、理由とか理論とか公式とか知らなくても、答えを聞いたらやればいいんです。

で、合格したら、それを次の人に伝える。

そしたら次の問題が出た時に、また教えてくれる先生があらわれる、と。

これホンマ!!!

って前書きで(長っ!!!)

やりたいことが出来たら、それが何でやりたいか？とかは置いといていいからやってみればいい。

やってから「ああ、やっぱし合わないわ〜」って事もあるでしょう。

でも、それは

“やらないとわからなかった事”

なんですね。

やったからこそわかった事で、そうやって人って成長していくもんだ、と。

で、失敗して、人間関係やお金的にトンデモない失敗をしちゃった、と。

でもね”それ”が原因で死ぬこたない。

死ぬって決めんのは自分自身ですから。

原因は”自分自身”で”失敗”そのものじゃない。

生きてりゃ、幾らかでもやり直せんですよ〜

安西先生も言ってるし。

『諦めたら、そこで終わりですよ。』 by スラムダンク

だから理由なんか後付けでいいから、やりたい事はやった方がいい。

やって上手くいったら、上手くいった理由が。

やって失敗したら、失敗した理由が。

それぞれわかって、自分自身の成長の糧になる。

また、他の人に伝える事も出来る。

だから、やりたいことは素直にやってみたらいい、と。

とは言っても、あれこれ悩んで踏み出せない人は、大抵『出来ないワケ』を探してるんですね～

曰く

“お金がない”

曰く

“時間がない”

曰く

“自信がない”

などなど...

でもね

先延ばしにしたら”お金ができる”んですか？”時間ができる”んですか？

やってないんだから”自信がある”方がおかしい（ $\geq \nabla \leq$ ）

先の事なんて、どうなるかわかりゃしない。

先日のロシアの隕石事件みたいな事が起きて、明日死んじゃうかも～

そんなん考える暇があるんだったら

『出来る理由』

を探せばいい。

『出来る理由???

う～ん、やりたいから』

でもいいんですよ。

で、考えて考えても”出来る理由”が浮かばないものって大抵...『本当はやりたくない事』なんで

すね。

『やりたい事』ではなくて『やらなければならない事』。

その見極めの為にも、やりたい事があつたら『出来る理由』を探したらいいかと。

で、自分自身がやりたい事をやって、成功しても失敗しても、そこにあるのは『反省』で。

決して『後悔』ではない、と。

『反省』なら次があるし、今の日本、失敗しても死ぬこたあない。

生きてたら、また、やりたい事が出てくるしね～ (≧▽≦)

『生きてるだけで、丸儲けっ!!!』 by 明石家さんま

☆多なお、やりたい事をやったおかげで問題が起きても当方一切関知いたしません。しかしながら、大成功しても報酬を要求する事もございませんので、ご安心を～

(m //) ぷぷっ！

P.S.

「ねえ、ユリさん。死んだら終わりだけど、生きてリャンンボでもできるから、やりたい事やりゃいいですよ～」

『やりたい事をやるのは賛成だけど。』

「だけど？」

『死んでも終わりじゃないわよ～。こっち来るだけだから。死なない、ってか、死ねないから。安心して、ど～んとやりなさいなっ!!!

(≧▽≦) 』

「はいはい...(^◇^;)」

やっちゃいましたねえ～(^◇^;)

ヒビキ(以下ヒ)：いやぁ～無謀にも、こんなモン始めちゃいましたねえ。

ユリさん(以下ユ)：知～らない、っと。

ヒ：いやいやいやいや。何言ってんですか！

ユ：何がぁ??

ヒ：何がぁ...って、あのね。それと語尾伸ばしても可愛くないで...

ユ：歯を食いしばれえ!!o(メ`皿^)O()△☆)/うきよ!

ヒ：...<(_ _)>ゴメンナサイ

ユ：わかりやぁいいのよ、わかりやぁ。

ヒ：...いや、そうではなくて。こんなモンをです、無謀にも...

ユ：こんなモンってなにさっ!!あたしの言葉が気にいらんっての？

ヒ：（あ”～誰か助けてくれい）いや、一度公表したモノを、ただまとめたただけなモノに意味とか需要とかあるんかなあ、とね。

ユ：そこは、アンタがキリキリ働いて、オマケをいっぱい足せばいいだけで。

ヒ：そんな...身も蓋もない...(^◇^;)

ユ：だってそうでしょう？未公開の話が載ってるってなったら見たくなるってのが人情じゃない。読者喜ぶ、あたし嬉しい。何か問題でも???

ヒ：だから、僕の手間と仕事です、ね...

ユ：問題、あるの？

ヒ：製作時間が...

ユ：も・ん・だ・い・あ・る・の・お???

ヒ：...ありません...orz

ユ：わかったらよろしい。それにね。

ヒ：意味があるかどうかなんて、死ぬまで...いいえ、死んでもわからないわねえ。

ヒ：え？

ユ：例えば、かの世界的な画家であるゴッホも、生前は全く評価されなかったでしょ？でも生きている間は描き続けたわよね。何故だと思う？

ヒ：有名になりたかったからとか、お金持ちになりたかったからとか...ではないですよね～

ユ：あたり前じゃない!! そんな想いで描いてたんなら、死ぬまで不幸だったじゃないの。やったら不幸になる事を死ぬまで続けられる？

ヒ：いや、そんなんムリ。

ユ：でしょ？売れるとか売れないじゃなくて、描いている間はとても幸福だったのよ、彼。義務じゃなくて、自由な表現だったから。魂は歓喜に震えていたのよ。で、アンタは？

ヒ：え”？

ユ：これやってんのは義務だからなの？

ヒ：いえ...何か、楽しいし。

ユ：だったら大丈夫ね。オマケもどどこ書けるわね??

ヒ：は、はあ...

ユ：それに評価されるとか意味があるかなんて、他人目線じゃないのさっ！楽しいからやってんなら、少なくとも絶対に一人はアンタのやってる事を評価してるわよ。

ユリさん通信 Vol.0

<http://p.booklog.jp/book/70090>

著者：ヒビキ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hibiki-yuri/profile>

Blog 『ガイドと共に』

<http://hibiki-yuri.blogspot.jp/>

無料メルマガ 『源からのメッセージ』

<http://www.mag2.com/m/0001598566.html>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/70090>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/70090>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ